

Press Release

日本ベーリンガーインゲルハイム、 「BI ファーマシストアワード 2013」グランプリを発表 募集テーマ「さらなるチーム医療の実践」

2013年3月18日 日本／東京

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:青野吉晃)は3月17日、「BI ファーマシストアワード 2013」の最終選考会を実施するとともに、グランプリ、準グランプリなど各賞の発表および表彰式を執り行いました。

「BI ファーマシストアワード」は、日々の薬剤師業務を通じて医薬品の適正使用や薬物治療に貢献する優れた取り組みを表彰するため、日本ベーリンガーインゲルハイムが2010年4月に創設した賞です。第3回目となる「BI ファーマシストアワード 2013」は、「さらなるチーム医療の実践」をテーマに、薬剤師の先生方の取り組み・研究を広く募集しました。

「BI ファーマシストアワード 2013」は、寄せられた45件の応募の中から一次審査を通過した10組が最終選考会に進み、東京国際フォーラムで行われた最終選考会の結果、グランプリには「吸入療法の地域連携 ～ファーマシューティカルケアの担い手として薬剤師がすべきこと」(群馬大学医学部附属病院 小野 理恵[おの りえ]先生)が選ばれました。

準グランプリには「チーム医療の中の在宅薬剤管理指導業務の実践」(山梨市立牧丘病院 薬局長 望月 正英[もちづき まさひで]先生)と「ガン終末期在宅ケアに必要とされる薬剤師を目指して～院外薬局薬剤師と病院薬剤師の協働～」(医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 地域医療管理部長補佐 山野 裕 [やまの ゆたか]先生)が選定されました。



2013年3月18日

ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社
広報部

東京都品川区大崎2-1-1

ThinkPark Tower

Tel: 03-6417-2145

Fax: 03-5435-2920



当プレスリリースは、弊社HPからも
ご覧になれます。

www.boehringer-ingelheim.co.jp



写真中央 群馬大学医学部附属病院(前橋市) 小野 理恵先生

写真左 山梨市立牧丘病院(山梨市) 薬局長 望月 正英先生

写真右 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院(鴨川市)地域医療管理部長補佐 山野 裕先生

表彰式では、日本ベーリンガーインゲルハイム 代表取締役社長 青野吉晃より、グランプリ受賞者には 50 万円、準グランプリ受賞者には 30 万円の賞金、さらに賞状とトロフィーがそれぞれ贈呈されました。

青野吉晃は、「医療技術の高度化や医薬分業の進展、お客様を一層重視する流れに伴い、薬剤師の先生方の業務は質・量ともに大きく変化し、医薬品の適正使用を推進はもちろんのこと、患者さんの満足度を高めるサービスの提供も求められ、医療の中で一層重要な役割を担うようになりました。適切な医薬品情報の提供を通じた患者さんの健康への貢献を使命とする製薬企業として、サポートを強化しつつ継続致します」と、今後も薬剤師を支援する活動を行っていききたいとコメントしました。

日本薬剤師会 会長 児玉孝氏は、「医薬品の適正使用や患者さんの満足度向上に貢献する薬剤師の取り組みが評価されるのは大変喜ばしいことです。BI ファーマシストアワードが日々の活動の改善や更なる研究の励みになると期待しています」とコメントしました。

また、日本病院薬剤師会 会長 北田 光一氏は、「昨年の診療報酬改定では『病棟薬剤業務実施加算』等のチーム医療に関連する評価が新設され、注目が高まっています。その期待に応えるために、今後も、チーム医療の担い手として薬剤師の活躍の場をますます広げ、医薬品の適正使用を介して社会や医療に貢献していきたいと考えております」と述べています。

選考委員

委員長	明治薬科大学	教授	伊東 明彦 先生
委員	社団法人日本薬剤師会	相談役	漆畑 稔 先生
	一般社団法人東京都病院薬剤師会	常任理事	奥山 清 先生
	東京医科大学八王子医療センター	薬剤部長	
	社団法人日本薬剤師会	副会長	藤垣 哲彦 先生
	社団法人大阪府薬剤師会	会長	
	一般社団法人日本薬業研修センター医薬研究所	所長	堀 美智子 先生
	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー	取締役	

ベーリンガーインゲルハイムについて

ベーリンガーインゲルハイムグループは、世界でトップ 20 の製薬企業の 1 つです。ドイツのインゲルハイムを本拠とし、世界で 145 の関連会社と 44,000 人以上の社員が、事業を展開しています。1885 年の設立以来、株式公開をしない企業形態の特色を生かしながら、臨床的価値の高いヒト用医薬品および動物薬の研究開発、製造、販売に注力してきました。

2011 年度は 132 億ユーロ（約 1 兆 4,624 億円）の売上を示しました。革新的な医薬品を世に送り出すべく、医療用医薬品事業の売上の 23.5%相当額を研究開発に投資しました。

日本ではベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社が持ち株会社として、その傘下にある完全子会社の日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社（医療用医薬品）、エスエス製薬株式会社（一般用医薬品）、ベーリンガーインゲルハイム ベトメディカ ジャパン株式会社（動物用医薬品）、ベーリンガーインゲルハイム製薬株式会社（医薬品製造）の 4 つの事業会社を統括しています。

詳細は下記をご参照ください。

<http://www.boehringer-ingelheim.co.jp/>

お問い合わせ先:

ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社
広報部

Tel. 03-6417-2145
Fax. 03-5435-2920